

スポーツ大学生の喫煙に対する意識・実態調査 2013

加藤 祐太郎 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 中菌 伸二

キーワード：スポーツ大学生，喫煙者率，学内・学外禁煙

1. 緒言

びわこ成蹊スポーツ大学では、2003年の開学当初より学内全面禁煙である。びわスポ大はスポーツ大学であり、スポーツや健康に関心を持っている学生が多いと考えられる。喫煙者の喫煙開始時期は、20歳前後が最も多いといわれており、本学でも大学生時に喫煙を開始する学生が多いと考えられる。大学生にとって1日の大半を過ごす場であるキャンパスが全面禁煙であることは、健康に対する意識の高い学生の多いびわスポ大においてどのような影響があるのだろうか。

2. 研究方法

調査Ⅰ：調査対象は、びわスポ大の学生に無記名の自記式で実施した質問紙調査について、2003～2013年分の結果の喫煙者率を分析した。2013年の1～4年次生の回答数は1100名。質問紙は、厚生省（喫煙と健康問題に関する実態調査，1999）などを参考に作成した。

調査Ⅱ：「学友が学内・学外でタバコを吸っていた場合、あなたはどうしますか」という項目から学内と学外という場所に対しての学生の喫煙に対する考えというものも探っていく。また「びわこ成蹊スポーツ大学のキャンパス内全面禁煙についてのあなたの感想・意見を自由に書いてください」という自由記述の項目から学生のキャンパス内全面禁煙に対する意見を詳しく探っていく。

3. 結果と考察

調査Ⅰより、本学における学生喫煙者率は概

ね年々減少傾向にある。しかし、20歳になり法律で喫煙が認められるようになると喫煙者率が増加する傾向がある。

調査Ⅱ：学内・学外で喫煙している学生を見つけた時に、どのような行動をとるのかも調査した。学内では、「注意する」と答えた学生が44.5%であった。しかし、学外で「注意する」と答えた学生はわずか14.7%であり、学外では「無視する」とした学生は46.1%であった。

キャンパス内全面禁煙については、賛成や良いといった意見が大多数であった。そのような賛成意見に対して、喫煙者からの反対意見も寄せられた。今後より一層学校近辺の周辺でも喫煙防止強化が必要とされるという意見も見受けられた。

4. まとめ

びわスポ大生の喫煙者と非喫煙者の喫煙に対する意見や思いが明らかに違うことが明確になった。今後の課題として、喫煙者・非喫煙者ともにキャンパス外においても禁煙ポリシーを浸透させること、喫煙者を禁煙に向かわせることなどが挙げられる。

引用・参考文献

小浜明ほか(2005) 大学における構内全面禁煙ポリシー評価(中間発表)。びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要，2：81-91。

中菌伸二ほか(2011) スポーツ大学生の喫煙についての意識・実態調査。学校保健研究，53(Suppl)：279。